

Ⅱ 調査結果の概要

1. 観光入込客延べ数

平成 28 年の島根県の観光入込客延べ数は 33,119 千人であり、前年と比べると、52 千人（-0.2%）減少した。

〈観光入込客延べ数〉

区 分	総 数	内 訳	
		県内客	県外客
観光入込客延べ数（千人地点）	33,119	6,515	26,604
構 成 比	100.0%	19.7%	80.3%
対 前 年 増 減	-0.2%	-7.1%	+1.7%

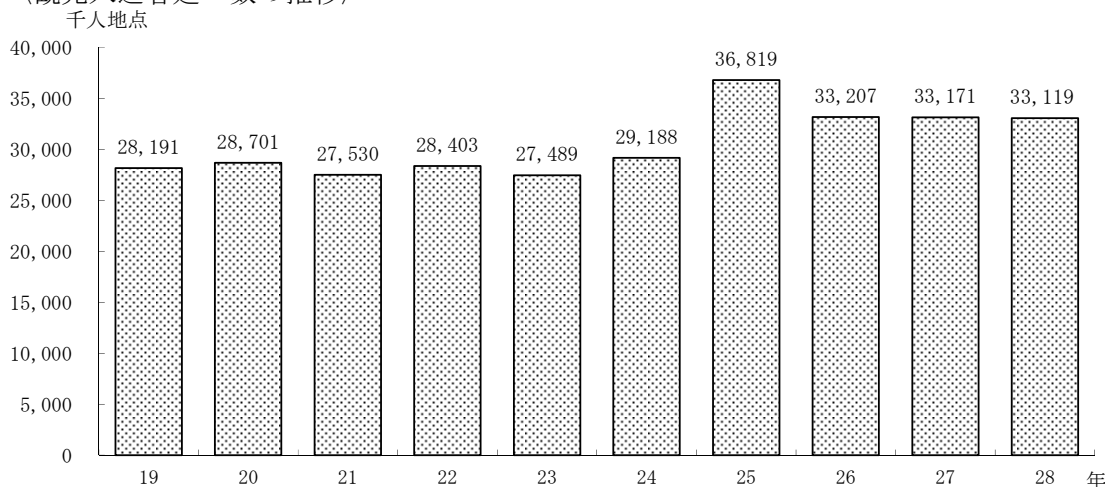
注) 県内客・県外客の別は、観光入込客延べ数に観光地点アンケート調査で得られた県内客・県外客の割合を乗じて算出した。

注) 本調査結果での率の合計については、端数処理のため 100%にならない場合がある。

【主な変動要因】

- ① 「米誌ランキング」の連続日本一選出に伴う足立美術館の露出増加
- ② 5月のゴールデンウィーク、9月のシルバーウィークの日並びの影響
- ③ 5月と9月の悪天候と、鳥取県中部地震
- ④ 地方への訪日旅行の増加
- ⑤ 広島、岡山、米子への香港定期便就航
- ⑥ クルーズ客船の寄港数増加

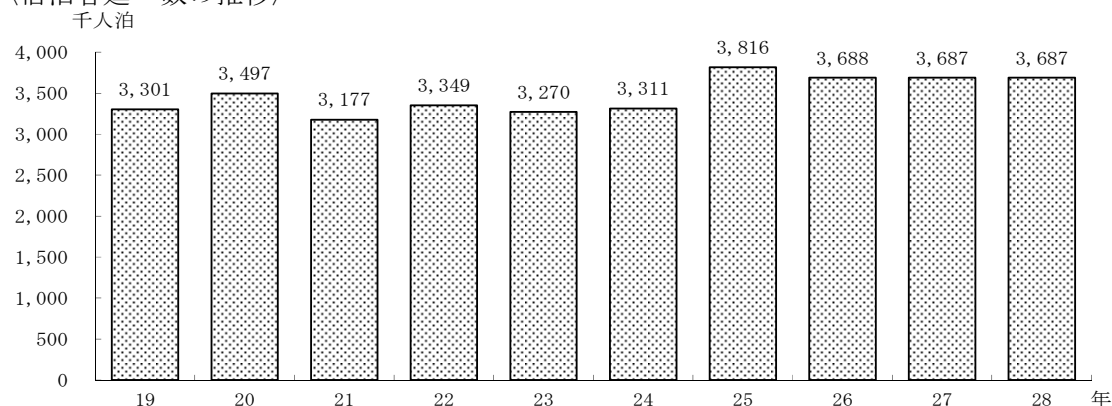
〈観光入込客延べ数の推移〉



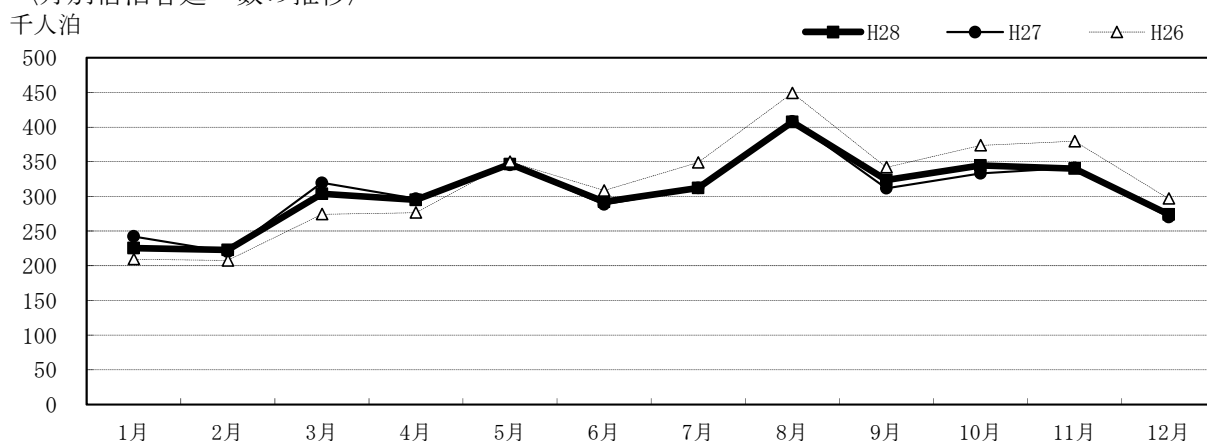
2. 宿泊客延べ数

平成 28 年の県内宿泊施設の宿泊客延べ数は、3,687 千人であり、前年と比べると、54 人減少した。

〈宿泊客延べ数の推移〉



〈月別宿泊客延べ数の推移〉



区 分	ホテル 旅館	民 宿 ペンション	社会教育 施設	公共の 宿泊施設	キャンプ 場	合 計
宿泊施設数	243	92	2	38	35	410
宿泊客延べ数(人泊)	3,210,316	97,419	68,872	187,249	123,317	3,687,173
構 成 比	87.1%	2.6%	1.9%	5.1%	3.3%	100.0%
対前年増減	0.3%	-13.3%	3.1%	-0.8%	3.7%	0.0%

3. 観光入込客実人数

観光入込客延べ数をもとに観光地点アンケート調査等で得られた数値により推計した観光入込客実人数は、13,801千人であり、前年と比べると、345千人(-2.4%)減少した。

〈観光入込客実人数〉

区 分	総 数	宿 泊 客		日 帰 り 客	
		県内客	県外客	県内客	県外客
観光入込客実人数(千人回)	13,801	119	2,489	4,034	7,159
構 成 比	100.0%	0.9%	18.1%	29.2%	51.9%
対前年増減	-2.4%	-1.2%	-2.2%	-7.7%	+0.7%

4. 観光消費額及び経済波及効果

観光地点アンケート調査で得られた観光消費額単価に観光入込客実人数を乗じて推計した平成28年の全県の観光消費額は、約1,372億円であり、前年に比べると約5億円(+0.4%)増加した。

この観光消費額が県内に及ぼす経済波及効果(直接効果、一次波及効果、二次波及効果の和)は、1.22倍の約1,669億円と推計され、前年に比べ約34億円(+2.1%)増加した。

注) 経済波及効果は、平成20年島根県産業連関表を用いて推計。

○1人当たり消費額

区 分	観光消費額単価(円)	対前年増減	観光消費額(百万円)
県内客・宿泊	18,438	-0.9%	2,187
県外客・宿泊	27,321	+2.4%	67,998
県内客・日帰り	3,825	+4.8%	15,430
県外客・日帰り	7,206	+1.2%	51,590
計	—	—	137,205

5. 外国人宿泊客延べ数

平成 28 年の島根県の外国人宿泊客延べ数は、61,542 人であり、前年と比べると、9.6 千人 (+18.6%) 増加した。

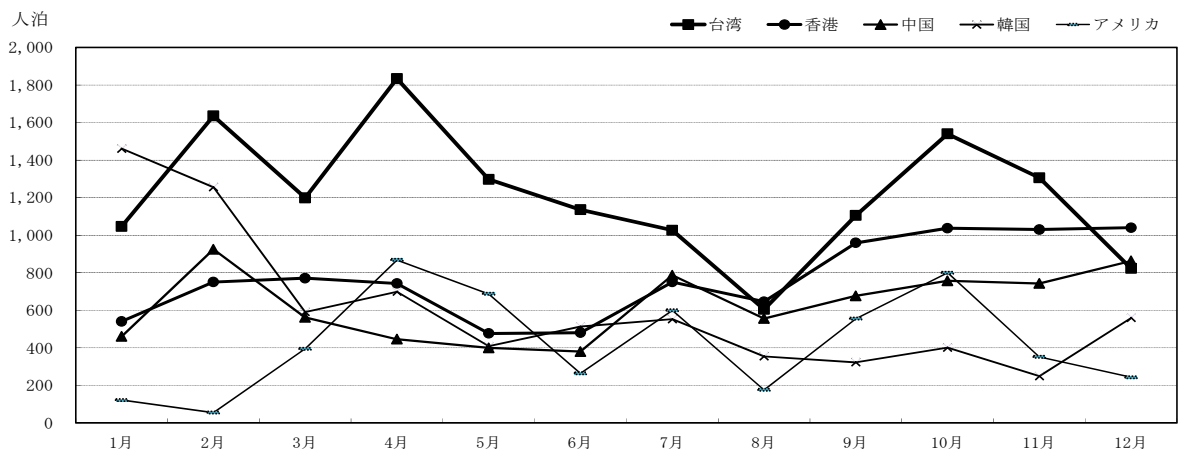
国・地域別では、台湾からが最も多く 14,553 人 (構成比 23.6%)、次いで香港 9,227 人 (同 15.0%)、中国 7,557 人 (同 12.3%) となっている。

〈外国人宿泊客延べ数〉

国・地域	宿泊客延べ数		対前年増減
	人 泊	構 成 比	
台 湾	14,553	23.6%	+1.3%
香 港	9,227	15.0%	+43.6%
中 国	7,557	12.3%	+54.1%
韓 国	7,369	12.0%	+2.1%
ア メ リ カ	5,121	8.3%	+21.2%
フ ラ ン ス	2,447	4.0%	+27.4%
タ イ	1,136	1.8%	+84.1%
オーストラリア	1,094	1.8%	+38.1%
イ ギ リ ス	949	1.5%	+6.5%
ド イ ツ	724	1.2%	-38.1%
カ ナ ダ	526	0.9%	+2.9%
シンガポール	485	0.8%	+93.2%
ロ シ ア	429	0.7%	-54.2%
イ ン ド	350	0.6%	+128.8%
フ ィ リ ピ ン	239	0.4%	-
マレーシア	237	0.4%	+115.5%
ベトナム	230	0.4%	-
インドネシア	159	0.3%	-
その他ヨーロッパ	4,509	7.3%	+10.7%
その他アジア	863	1.4%	-
その他オセアニア	423	0.7%	+119.2%
アフリカ	302	0.5%	-4.7%
中南米	260	0.4%	+143.0%
その他	2,353	3.8%	+14.1%
合 計	61,542	100.0%	+18.6%

※「フィリピン」、「ベトナム」、「インドネシア」の項目を追加した。

〈月別外国人宿泊客延べ数 (上位 5 カ国)〉



6. 観光入込客延べ数の分析

(1) 主要観光地観光入込客延べ数

市町村及び観光地・観光施設ごとの観光入込客延べ数の上位 10 箇所は以下のとおりである。

〈市町村〉

市町村名	入込客延べ数 (人地点)	対前年 増減
出雲市	12,020,623	-3.8%
松江市	10,261,670	+2.0%
浜田市	1,713,068	-6.1%
安来市	1,552,884	+20.6%
雲南市	1,529,646	+3.2%
大田市	1,387,435	+0.4%
津和野町	1,203,519	-0.8%
益田市	985,572	+0.2%
奥出雲町	805,116	-1.0%
邑南町	379,613	-6.9%

〈観光地・観光施設〉

観光地・観光施設名	入込客延べ数 (人地点)	対前年 増減
出雲大社(出雲市)	6,058,000	-0.3%
日御碕(出雲市)	979,830	-17.2%
島根ワイナリー(出雲市)	750,073	-7.2%
玉造温泉(松江市)	658,595	+2.3%
三瓶山(大田市)	642,100	+4.0%
足立美術館(安来市)	635,237	+46.4%
石見海浜公園(浜田市)	600,550	-2.2%
松江城山公園(松江市)	586,999	+5.6%
美保関(松江市)	559,959	+5.4%
太鼓谷稲成神社(津和野町)	557,559	+0.4%

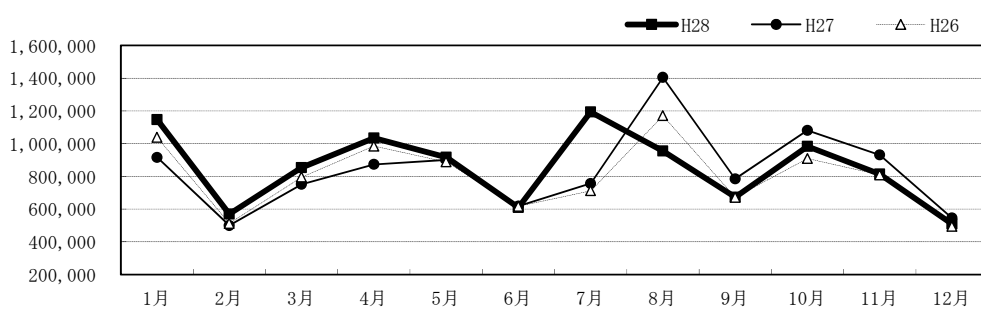
(2) 地域別観光入込客延べ数

地域別に観光入込客延べ数を比べると、最も多いのが出雲地域の 12,021 千人 (-3.8%)、次いで松江地域の 10,262 千人 (+2.0%)、雲南地域の 2,701 千人 (+3.9%)、益田地域の 2,435 千人 (-0.3%)、浜田地域の 1,993 千人 (-5.3%)、大田地域の 1,938 千人 (-1.1%)、安来地域の 1,553 千人 (+20.6%)、隠岐地域の 217 千人 (-1.3%) の順となった。

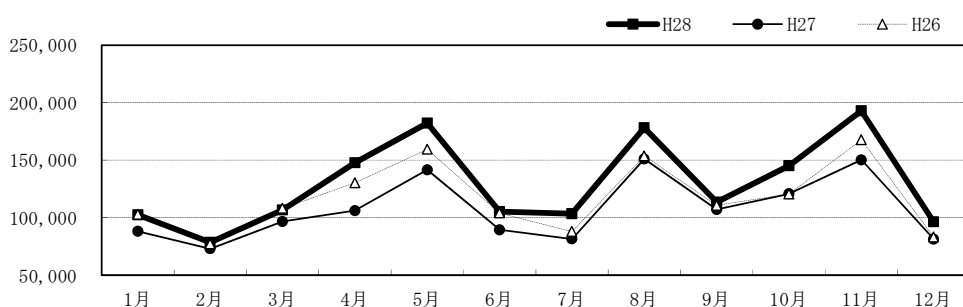
前年と比較して、出雲地域、大田地域、浜田地域、益田地域、隠岐地域を除く地域で入込客延べ数は増加した。

〈地域別月別観光入込客延べ数〉

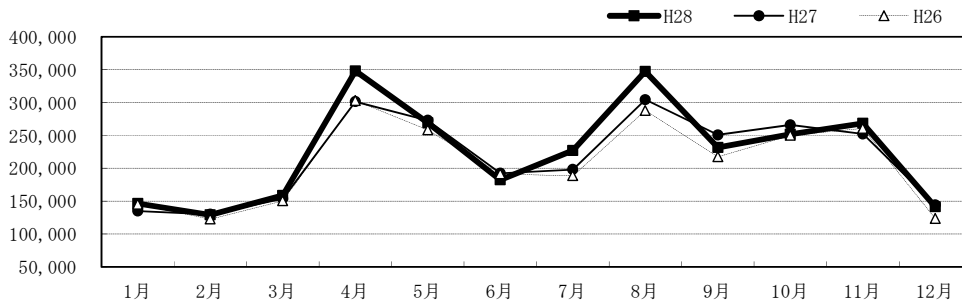
松江地域



安来地域

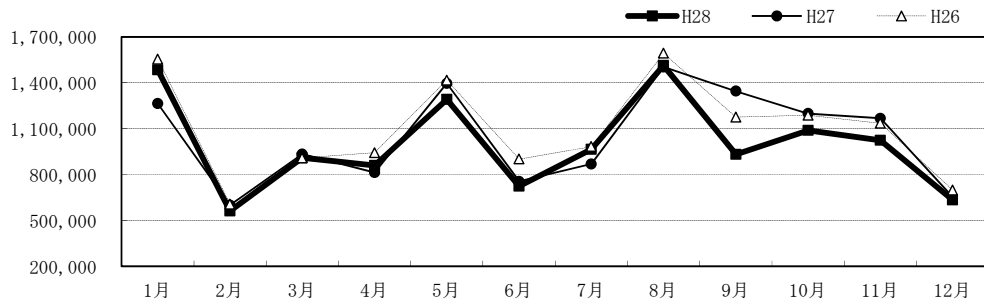


雲南地域



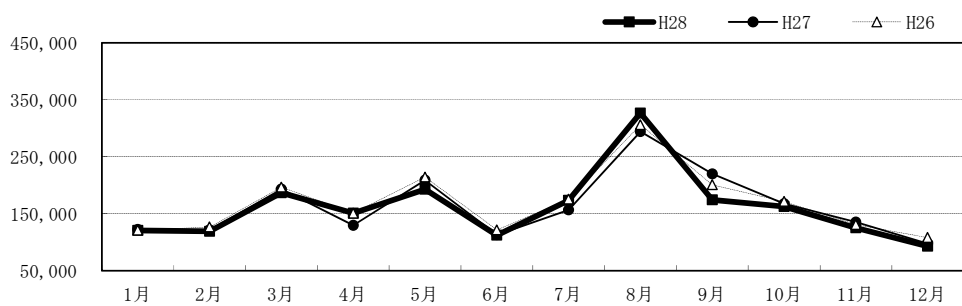
年	入り込み数
H28	2,701,175
H27	2,600,974
H26	2,499,147
対比	増減
H28対H27	+3.9%
H28対H26	+8.1%

出雲地域



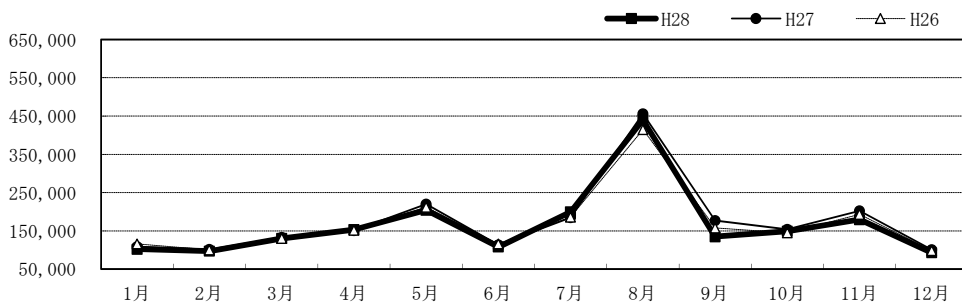
年	入り込み数
H28	12,020,623
H27	12,495,489
H26	13,099,631
対比	増減
H28対H27	-3.8%
H28対H26	-8.2%

大田地域



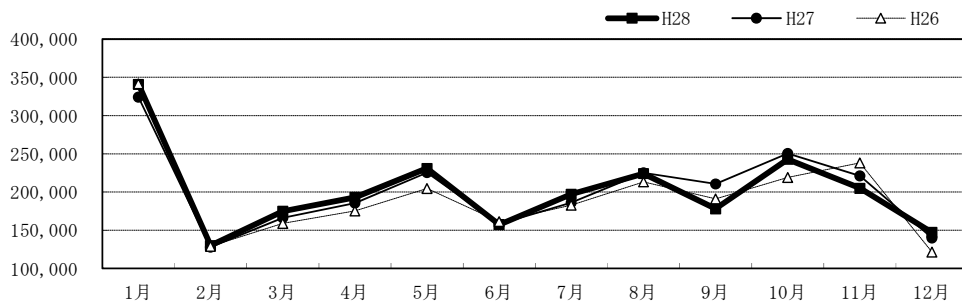
年	入り込み数
H28	1,937,608
H27	1,959,422
H26	2,024,021
対比	増減
H28対H27	-1.1%
H28対H26	-4.3%

浜田地域



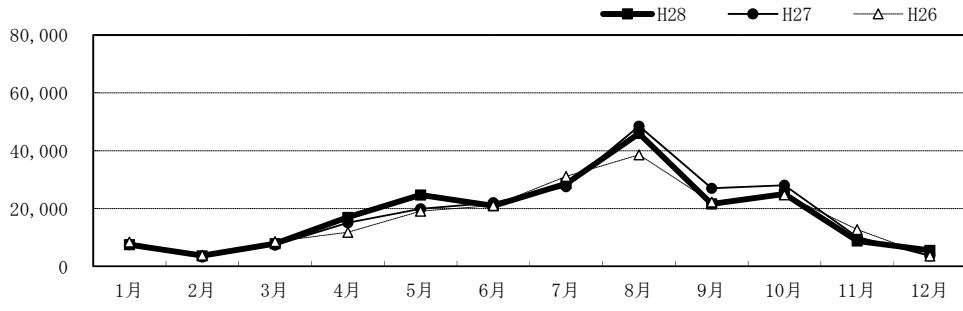
年	入り込み数
H28	1,992,620
H27	2,103,719
H26	2,022,916
対比	増減
H28対H27	-5.3%
H28対H26	-1.5%

益田地域



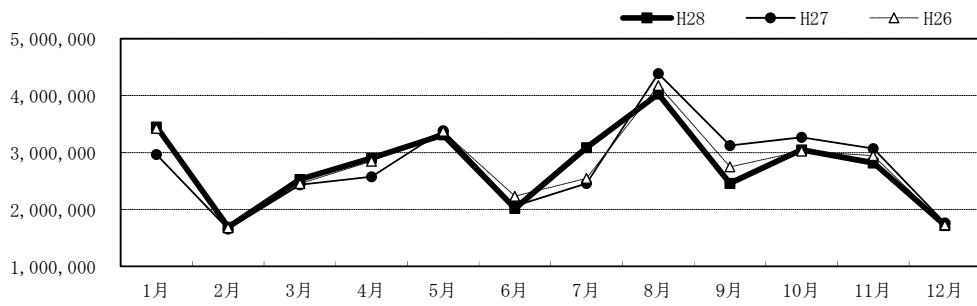
年	入り込み数
H28	2,434,707
H27	2,442,104
H26	2,347,700
対比	増減
H28対H27	-0.3%
H28対H26	+3.7%

隠岐地域



年	入り込み数
H28	217,260
H27	220,190
H26	205,893
対 比	増 減
H28対H27	-1.3%
H28対H26	+5.5%

全県

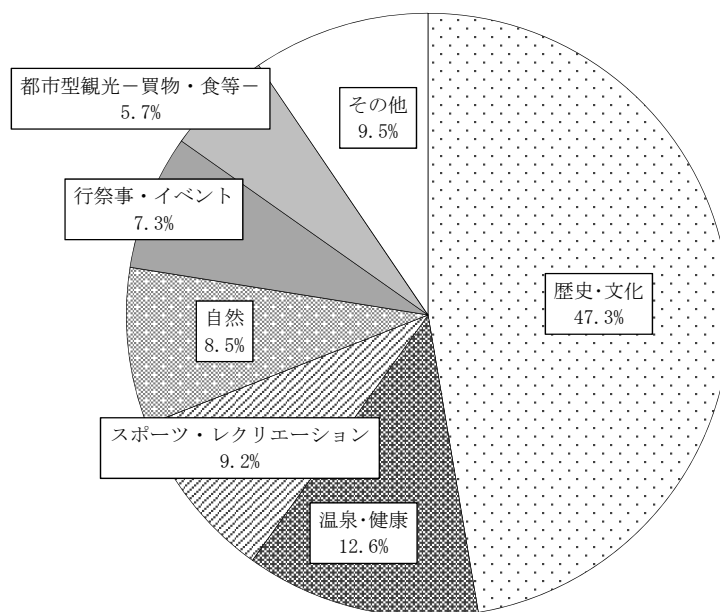


年	入り込み数
H28	33,082,113
H27	33,171,022
H26	33,206,608
対 比	増 減
H28対H27	-0.3%
H28対H26	-0.4%

(3) 行動目的別観光入込客延べ数

観光客の行動目的別（中分類）では「歴史・文化」が最も多く47.3%、次いで「温泉・健康」12.6%、「スポーツ・レクリエーション」9.2%、「自然」8.5%となっている。

〈行動目的別割合〉



行動目的 (中分類)	入込客延べ数 (人地点)	対前年増減
歴史・文化	15,675,977	+2.2%
温泉・健康	4,158,716	-1.8%
スポーツ・レクリエーション	3,039,649	-0.6%
自然	2,802,383	-9.3%
行祭事・イベント	2,401,481	+7.2%
都市型観光－買物・食等－	1,901,277	-4.4%
その他	3,139,064	-2.6%

《行動目的別（小分類）入込客延べ数の上位5区分（その他除く）》

行動目的 (中分類)	行動目的 (小分類)	入込客延べ数 (人地点)	対前年増減
歴史・文化	神社・仏閣	9,873,637	+1.3%
温泉・健康	温泉	4,158,716	-1.8%
歴史・文化	博物館	1,776,682	-5.8%
自然	海岸	1,394,925	-14.2%
歴史・文化	城	1,108,777	+5.6%

7. 観光客の動向（観光地点アンケートによる）

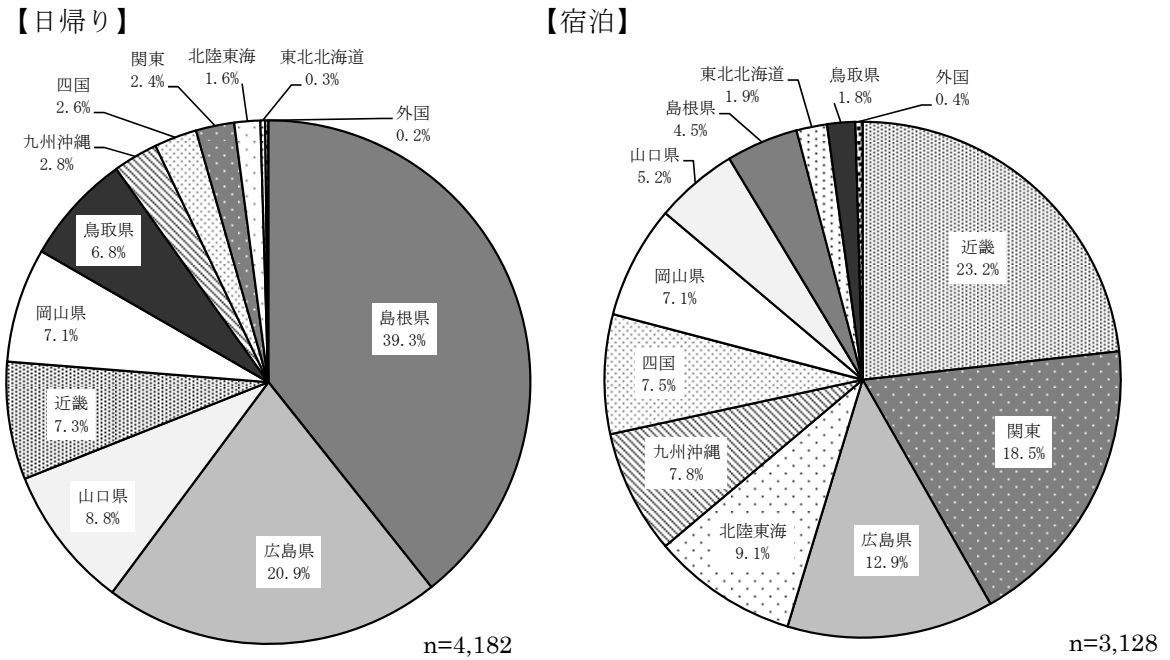
平成 28 年観光地点アンケート調査によって得られたデータをもとに、観光客の動向を分析する。

(1) 発地（住所）

ア. 日帰り・宿泊別入り込み割合

日帰りでは、島根県が最も多く 39.3%、次いで広島県 20.9%であった。島根県は前年から 2.2 ポイント減少しており、県内の割合が低くなった。

宿泊では、近畿が最も多く 23.2%、次いで関東 18.5%であった。構成比は、前年から四国（+1.8%）と九州沖縄（+1.0%）の割合が増加した。

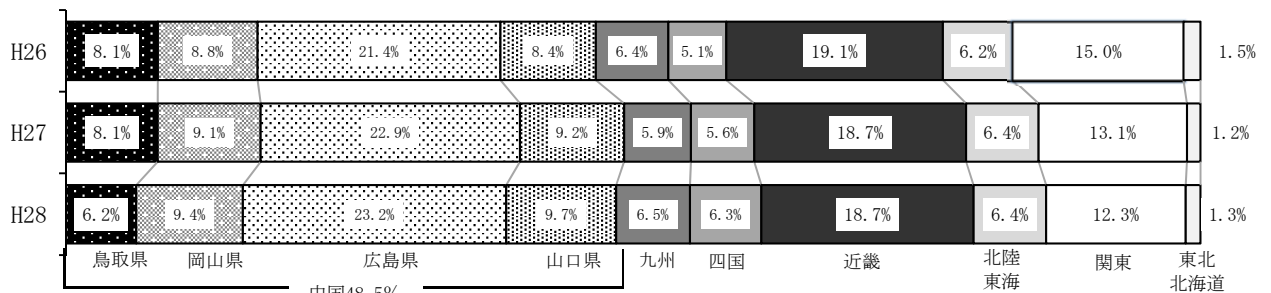


		東北北海道	関東	北陸東海	近畿	中国	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	四国	九州沖縄	外国
日 帰 り	H27	0.2%	3.1%	1.1%	6.1%	83.9%	8.3%	41.5%	6.2%	19.5%	8.3%	2.9%	2.5%	0.1%
	H28	0.3%	2.4%	1.6%	7.3%	82.9%	6.8%	39.3%	7.1%	20.9%	8.8%	2.6%	2.8%	0.2%
	対前年増減	+0.1%	-0.7%	+0.5%	+1.2%	-1.0%	-1.5%	-2.2%	+0.9%	+1.4%	+0.5%	-0.3%	+0.3%	+0.1%
宿 泊	H27	1.8%	18.8%	9.6%	24.4%	32.6%	2.7%	4.6%	7.3%	13.3%	4.7%	5.7%	6.8%	0.4%
	H28	1.9%	18.5%	9.1%	23.2%	31.5%	1.8%	4.5%	7.1%	12.9%	5.2%	7.5%	7.8%	0.4%
	対前年増減	+0.1%	-0.3%	-0.5%	-1.2%	-1.1%	-0.9%	-0.1%	-0.2%	-0.4%	+0.5%	+1.8%	+1.0%	+0.0%

イ. 県外観光入込客割合

県外客の発地別入込客割合は、広島県からが最も多く 23.2%、次いで近畿 18.7%、関東 12.3%となっている。近年、中国 4 県の割合は増加傾向で推移していたが、前年から 0.8 ポイント減少し 48.5%となった。また、四国の割合は増加傾向、関東地方の割合は減少傾向で推移している。

〈県外観光客発地別入込客割合の推移〉



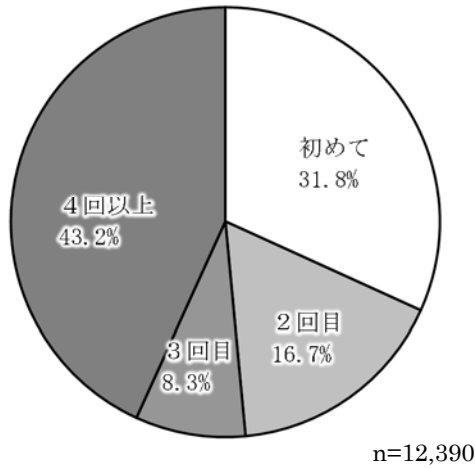
n=5,503

(2) 旅行回数

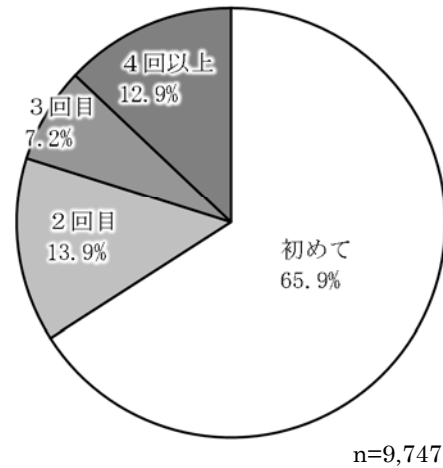
観光施設への訪問回数は、日帰りの場合は「4 回以上」が最も多く、宿泊の場合は「初めて」が多い。島根県への訪問回数も同様の傾向であるが、「初めて」の割合は大きく下がる。

ア. 観光施設の訪問回数

【日帰り】



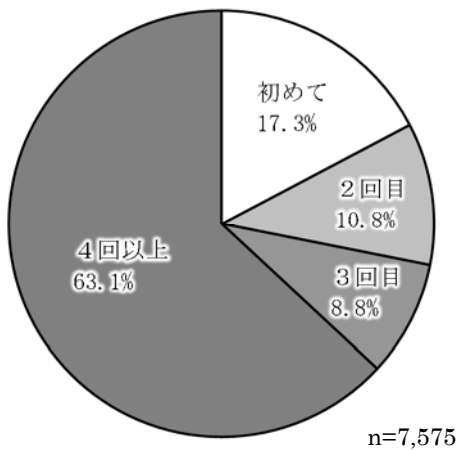
【宿泊】



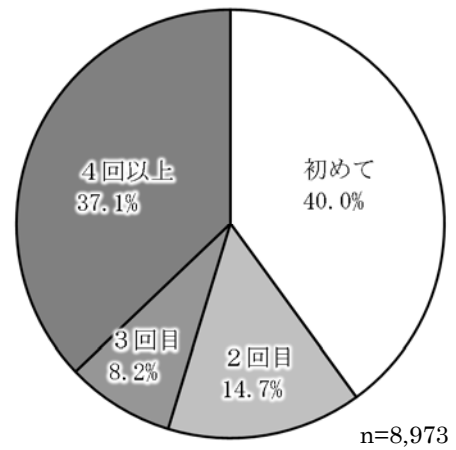
イ. 島根県の訪問回数

※この項目は県外客のみに島根県への訪問回数を質問している。

【日帰り】

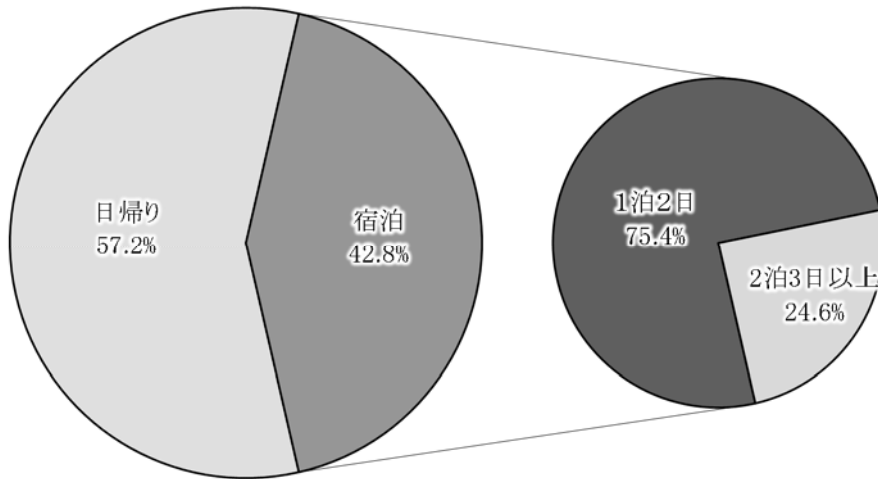


【宿泊】



(3) 旅行日程

「日帰り」が57.2%、「宿泊」が42.8%と、日帰り客の割合が高くなっている。
 「宿泊」のうち、75.4%が「1泊2日」となっている。



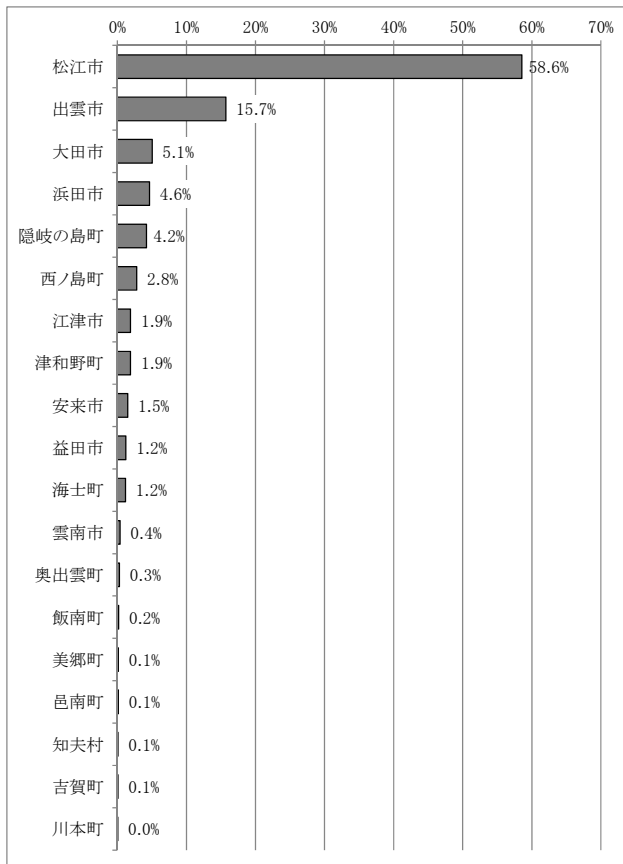
n=7,310

(4) 宿泊する市町村及び宿泊施設

宿泊する市町村では「松江市」が58.6%、次いで「出雲市」が15.7%となっており、全体の約7割（74.3%）を占めている。

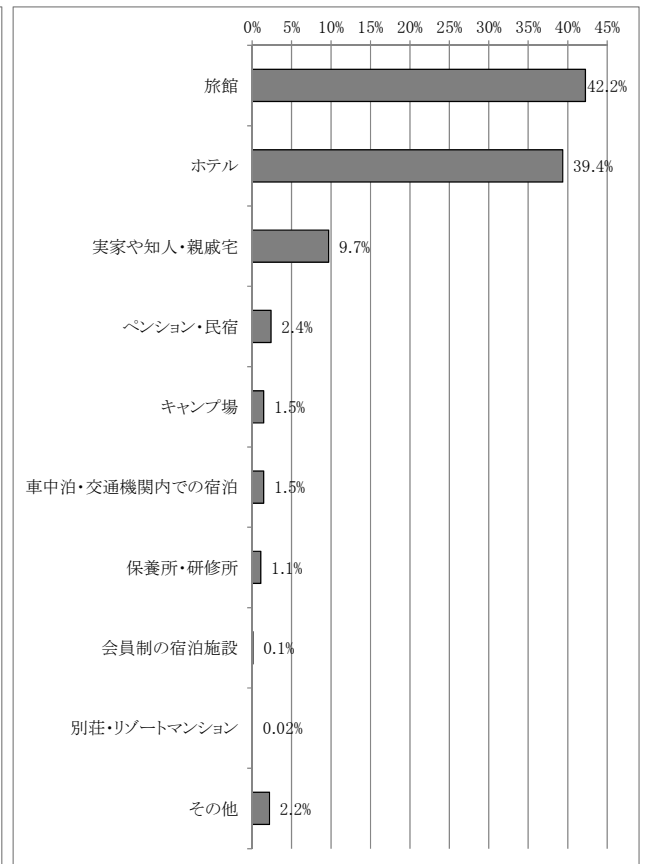
宿泊施設では「旅館」が42.2%、次いで「ホテル」が39.4%となっており、全体の約8割（81.6%）を占めている。

【市町村】



n=4,198

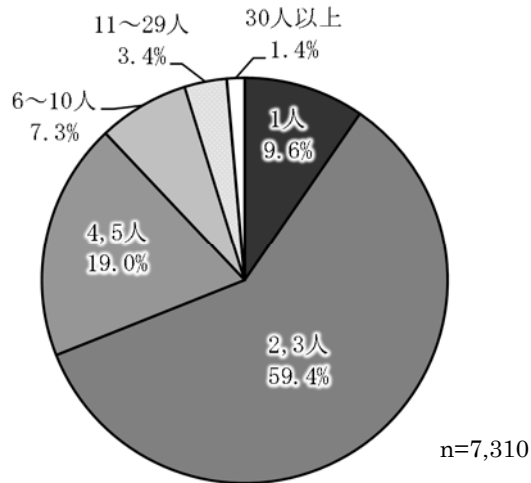
【宿泊施設】



n=4,198

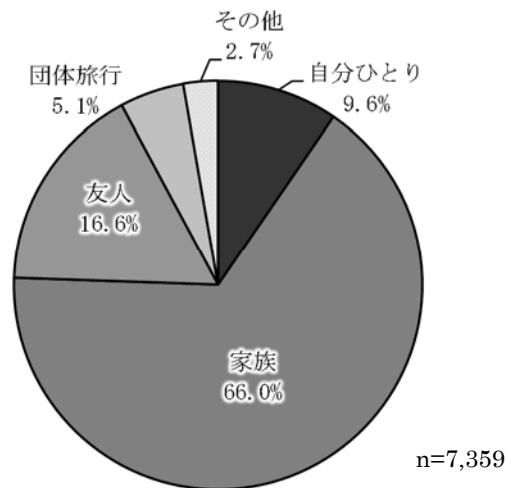
(5) 同行人数

「2、3人」が最も多く 59.4%、次いで「4、5人」が 19.0%となっている。



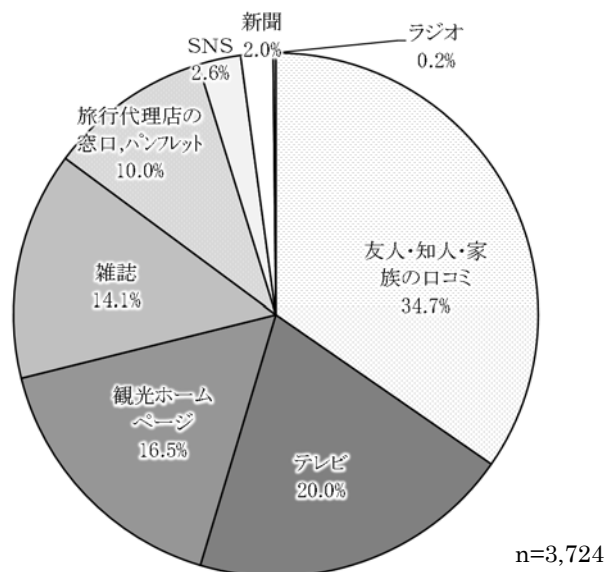
(6) メンバー構成

「家族」が最も多く 66.0%、次いで「友人」が 16.6%となっている。



(7) 旅行地を決定する際にきっかけとなった情報源

旅行地の情報を知っていた（その他を回答）を除くと、「友人・知人・家族の口コミ」が最も多く 34.7%、次いで「テレビ」が 20.0%となっている。※第二四半期～第四四半期の結果



※SNSがどの程度活用されているのかを把握するため、H28年第二四半期の調査より、「インターネット」を「SNS」と「観光ホームページ」に分化した。

(8) 利用交通機関

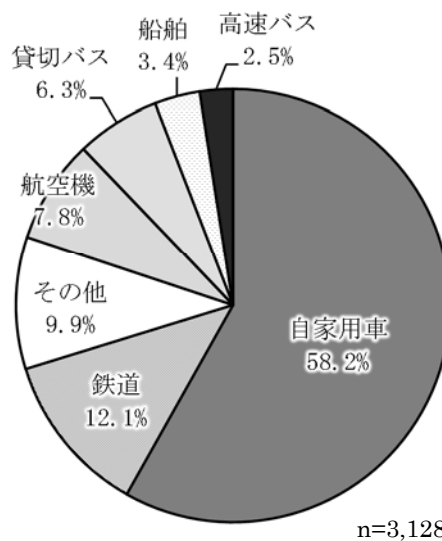
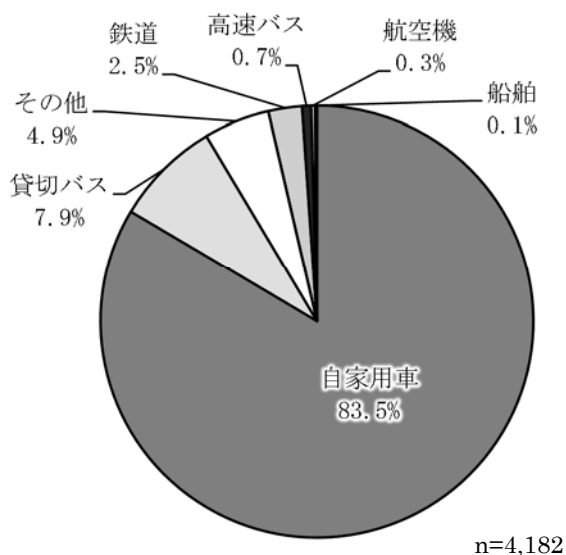
ア. 日帰り・宿泊別入り込み割合

日帰りでは、「自家用車」が最も多く 83.5%、次いで「貸切バス」が 7.9%となっている。

宿泊では、「自家用車」が最も多く 58.2%、次いで「鉄道」12.1%、「航空機」7.8%となっている。

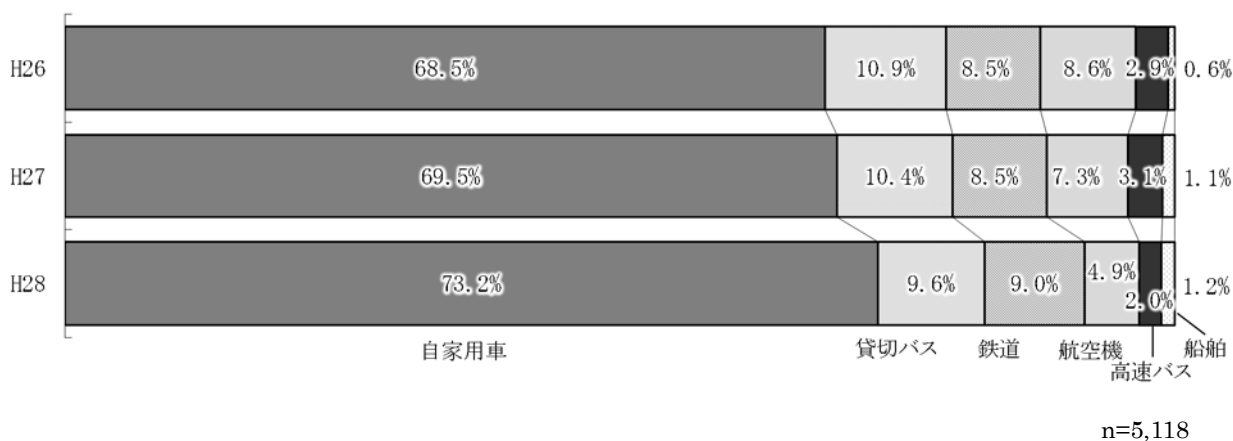
【日帰り】

【宿泊】



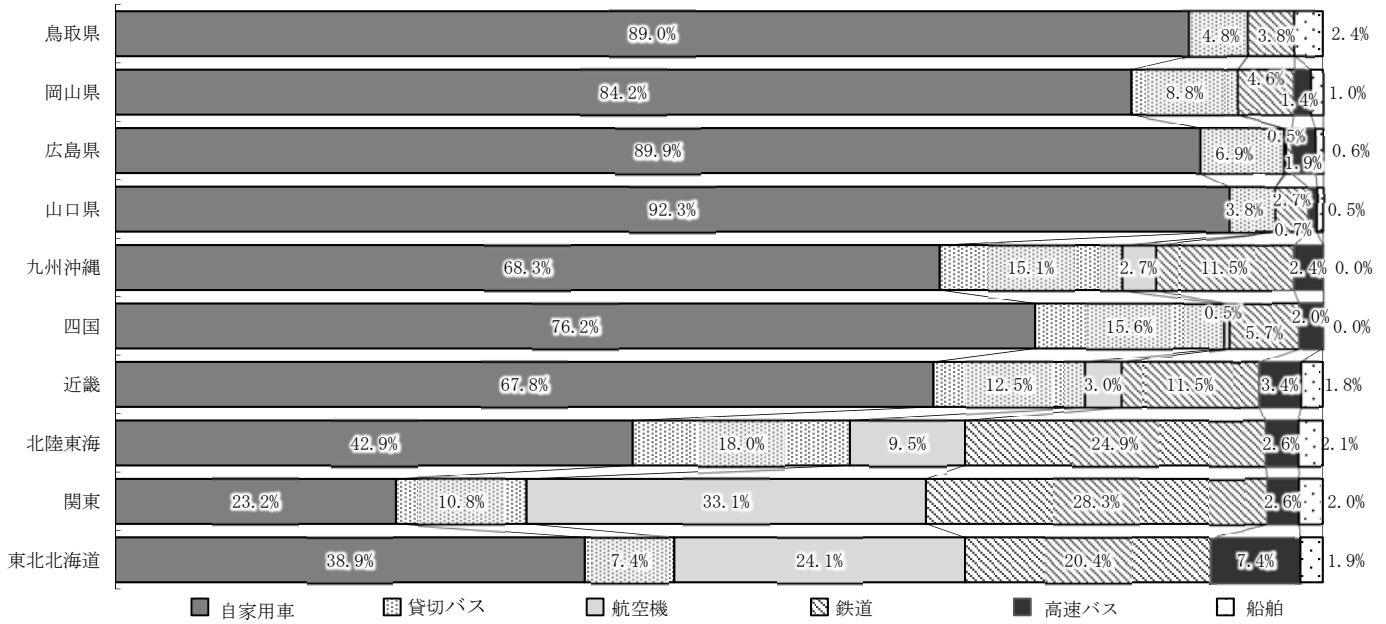
イ. 県外観光客入り込み割合

県外客について利用交通機関別にみると、「自家用車」が最も多く 73.2%、次いで「貸切バス」9.6%、「鉄道」9.6%となっている。「自家用車」の割合は、前年から 3.7 ポイント高くなった。



ウ. 県外地域別移動手段別割合

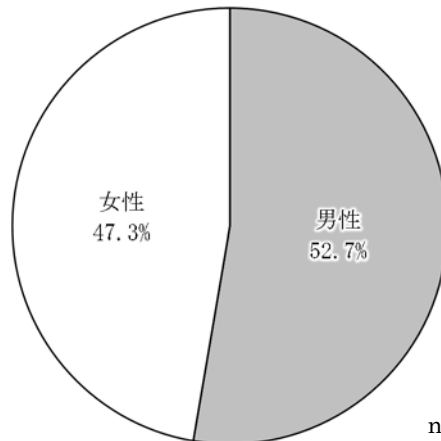
県外客について地域別にみると、中国、九州沖縄、四国、近畿では「自家用車」が5割以上を占めている。「航空機」と「鉄道」の割合が最も高いのは、関東となった。



n=5,340

(9) 性別

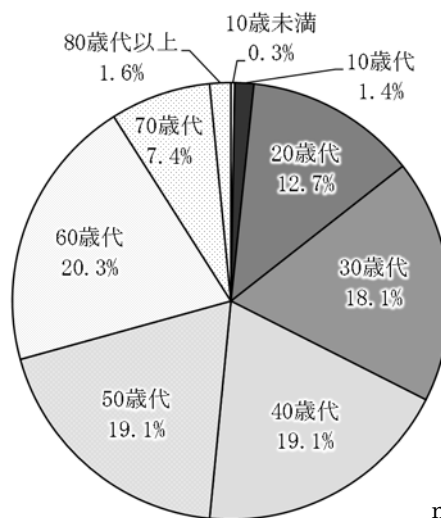
「男性」が52.7%、「女性」が47.3%とほぼ同等であった。



n=7,310

(10) 年齢

30歳代から60歳代が約2割を占めている。

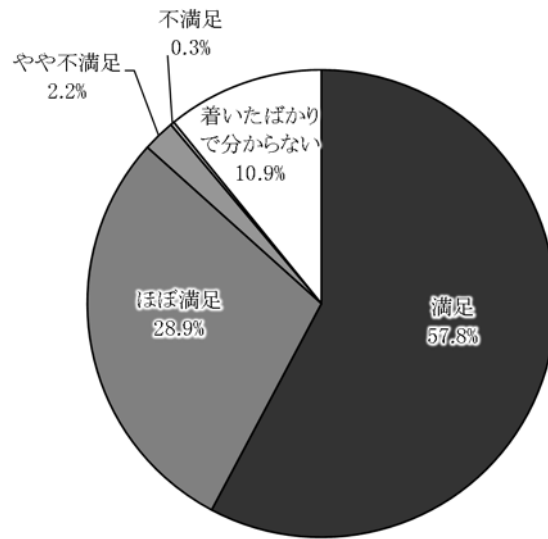


n=7,310

(11) 満足度

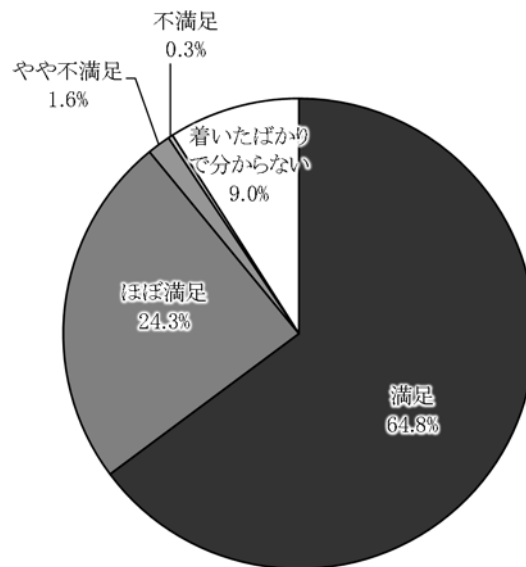
日帰り宿泊ともに、「満足」と「ほぼ満足」を合すると8割以上であった。

【日帰り】



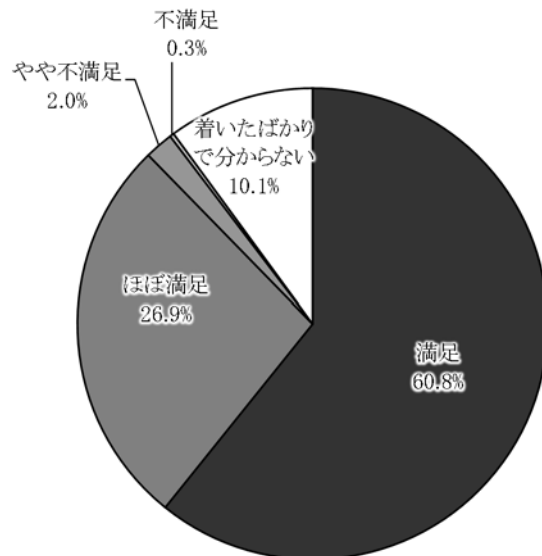
n=4,182

【宿泊】



n=3,128

【全体】



n=7,310

(12) 再訪意向

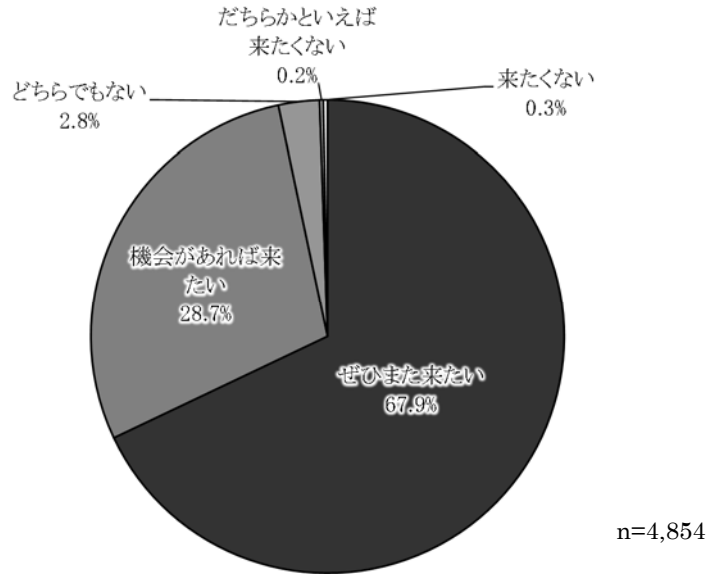
ア. 島根県への再訪意向及び観光施設への再訪意向

県外観光客の島根県への再訪意向は、「ぜひまた来たい」と「機会があれば来たい」を合すると9割以上であった。県内観光客の観光施設への再訪意向も同様の割合となった。

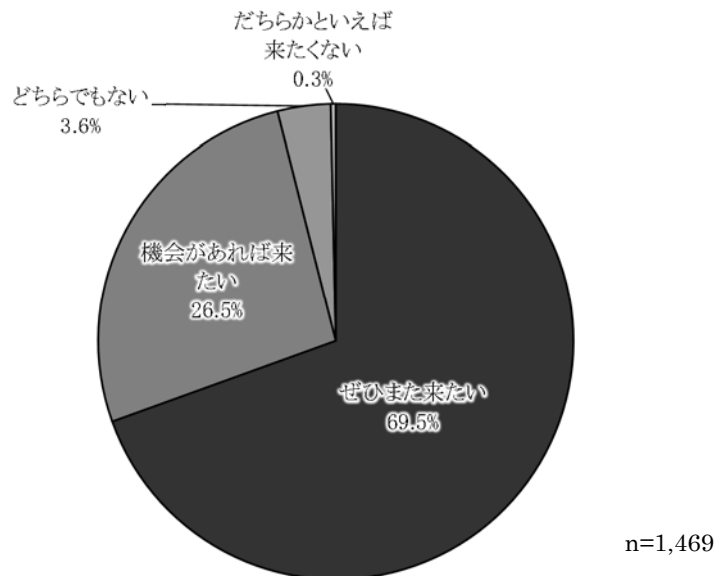
※H28年第二四半期の調査より、「再訪意向」の設問を追加した。

※県外観光客には「島根県への再訪意向」、県内観光客には「観光施設への再訪意向」を聞いている

【県外観光客】島根県への再訪意向



【県内観光客】観光施設への再訪意向

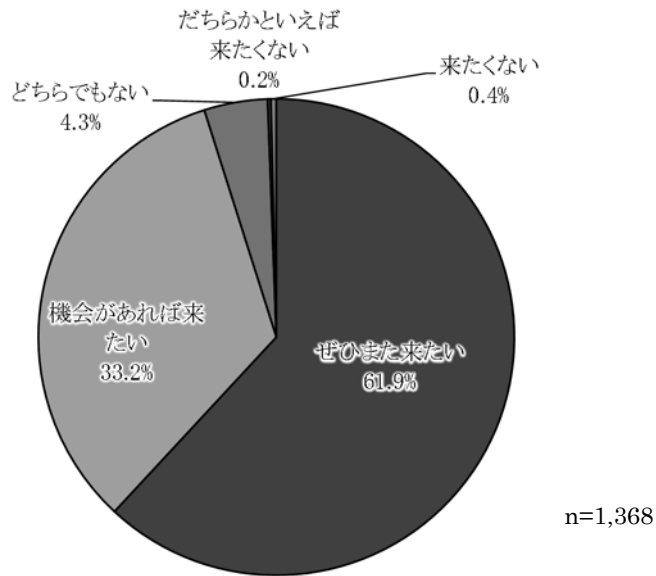


イ. 島根県への訪問回数別再訪意向

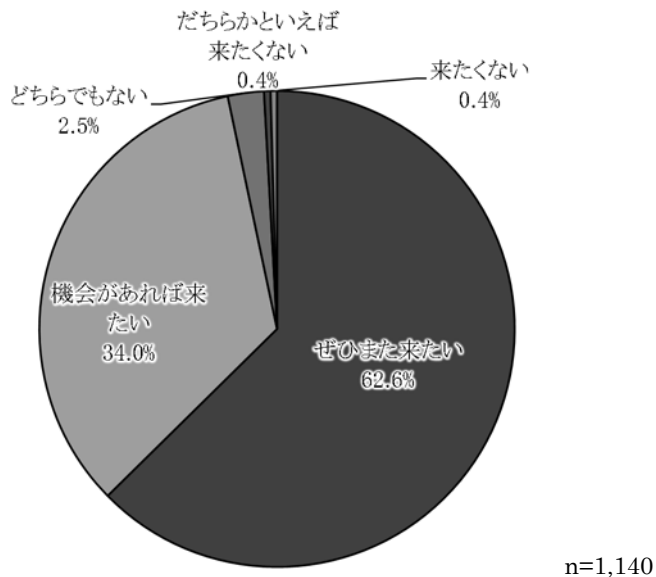
訪問回数が増えるほど、「ぜひまた来たい」の割合が高くなった。

※県外観光客の「島根県への再訪意向」の回答結果

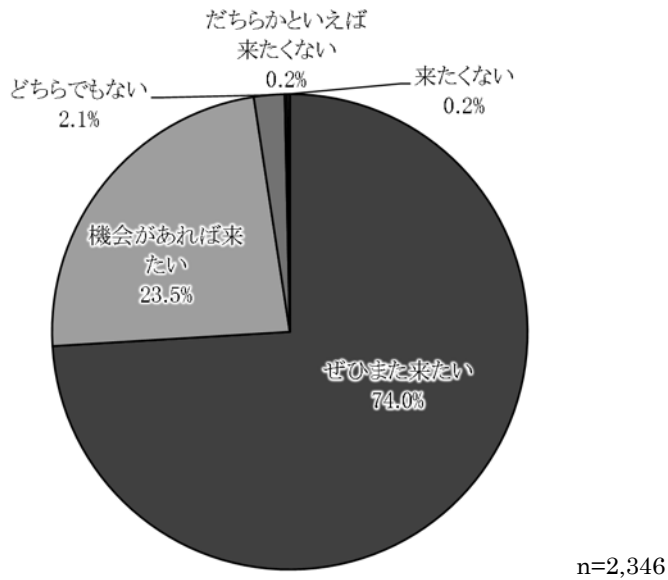
【訪問 1 回目】



【訪問 2～3 回目】



【訪問 4 回以上】

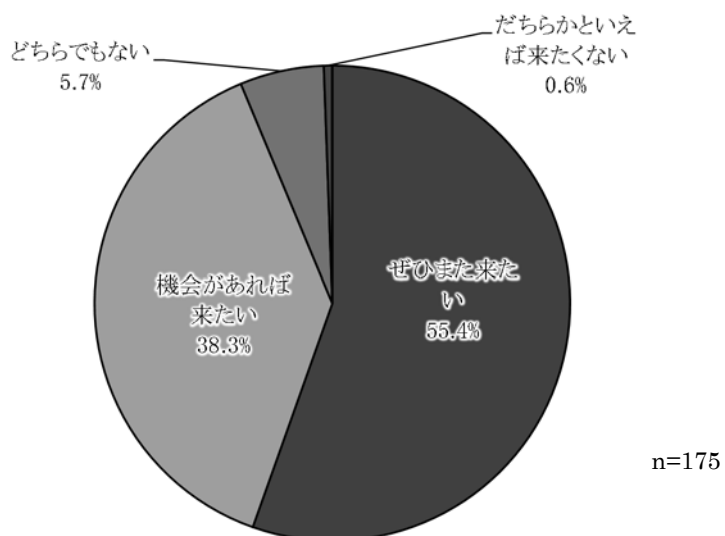


ウ. 観光施設への訪問回数別再訪意向

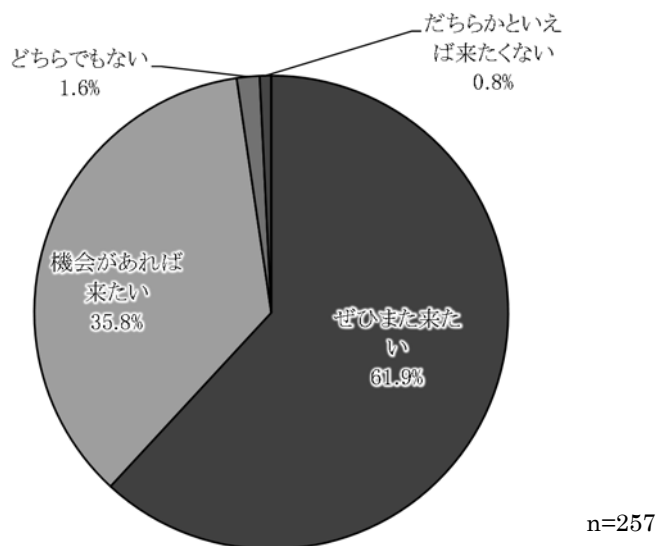
訪問回数が多くなるほど、「ぜひまた来たい」の割合が高くなった。

※県内観光客の「観光施設への再訪意向」の回答結果

【訪問 1 回目】



【訪問 2～3 回目】



【訪問 4 回以上】

